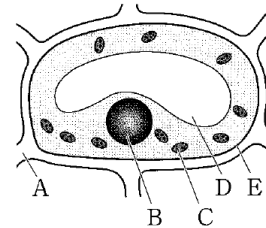


**I** 細胞のつくりを調べるために、次の観察を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔観察〕1. ヒトのはおの内側をこすりとしてスライドガラスにつけ、酢酸オルセイン溶液を1滴落としたあと、カバーガラスをかけてプレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。

2. タマネギのりん茎(食べる部分)の内側の表皮を5mm四方に切りとしてスライドガラスにのせ、酢酸オルセイン溶液を1滴落としたあと、カバーガラスをかけてプレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。

3. オオカナダモの葉を2枚とり、それぞれスライドガラスにのせた。一方には水を1滴落としたあと、カバーガラスをかけてプレパラートをつくった。もう一方には酢酸オルセイン溶液を1滴落としたあと、カバーガラスをかけてプレパラートをつくった。それぞれのプレパラートを顕微鏡で観察した。



右の図は、酢酸オルセイン溶液を落とした方のプレパラートを観察したときのようすを模式的に表したものである。

- (1) 観察では、それぞれ細胞の一部のつくりが酢酸オルセイン溶液でよく染まっていました。すべての細胞で観察された、よく染まっていたつくりを何といいますか。名称を答えなさい。
- (2) 観察で見られた細胞のつくりで、オオカナダモの葉の細胞にだけ見られた①緑色の粒を何といいますか。名称を答えなさい。また、②そのつくりは図のA～Eのどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。
- (3) 観察で見られた細胞のつくりで、オオカナダモの葉とタマネギのりん茎の表皮の細胞に見られた①細胞の形を維持し、からだを支えるのに役立っているつくりを何といいますか。名称を答えなさい。また、②そのつくりは図のA～Eのどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。
- (4) 生物には、1個の細胞でからだができている単細胞生物と、ヒト、タマネギ、オオカナダモのように多くの細胞でからだができている多細胞生物とがあります。次のうち、多細胞生物はどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア ミドリムシ      イ ミジンコ      ウ ミカヅキモ      エ ゾウリムシ

- (5) 次の文は、多細胞生物のからだの成り立ちについて説明したものです。文中の①～③にあてはまる語句として最も適当なものをあとからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

多細胞生物では、形やはたらきが同じ①が集まって②をつくり、いくつかの種類の②が集まって、1つのまとまった形をもち特定のはたらきをする③となる。そして③が集まって個体がつくられている。

ア 組織      イ 器官      ウ 細胞

- (1) 核(B)は1つの細胞に1個あり、酢酸オルセイン溶液などの染色体によく染まります。
- (2)(3) Aは細胞壁、Cは葉緑体、Dは液胞、Eは細胞膜です。細胞壁は丈夫なつくりをしており、植物のからだを支える役割があります。葉緑体は光合成が行われる部分です。核のまわりには細胞質があり、細胞質の一番外側は細胞膜といううすい膜になっています。細胞膜は動物と植物の両方の細胞にあります。

(1)	かく	核		
(2)	①	ようりよくたい 葉緑体	②	C
(3)	①	さいぼうへき 細胞壁	②	A
(4)	イ			
(5)	①	ウ	②	ア
			③	イ